



総合学科の創造性 地域の力に
に し め
新志芽通信

No.021

令和6年11月22日
秋田県立西目高等学校

《1年生 産業社会と人間》
トップが語る秋田の企業 【11月13日(水)】

1年生が「県内企業の魅力を知る」という企画に参加しました。生徒それぞれが興味のある企業を選び、95名が3班に分かれて訪問しました。

1班(35名) 丸大機工株式会社 → 由利工業株式会社 → 秋田精工株式会社



☆ たくさん人が関わって完成したものはとっても素晴らしいと思いました。今回参加して、私も機械系の仕事につきたいと思いました。

☆ 女性も働けるようになっている工場が増えていて進路の視野に入れたいと思った。

☆ 色んな分野の仕事の話を聞いてみるのが大事だと思った。製造業もとても楽しそうと知ることが出来たので、もっと視野を広げて自分の進路を決められるようにもっと将来のことを考えていくべきだと思った。

☆ 自分がしたことがそのままお客さんに伝わる仕事とそうでない仕事があるけど、どちらにしろ自分が関わったものでお客さんを喜ばせることができるのは幸せなことだと思った。自分が大人になって仕事を探すときになったら、お客さんを喜ばせる事ができる仕事に就きたいなと思った。

2班(35名) 小林工業株式会社 → 廣瀬産業株式会社 → 秋田ニューバイオファーム



☆ 私も自分の住んでいる地域に貢献できるような仕事をしたいです。

☆ 見学してきた会社の取り組みや考えを自分なりに取り入れて行きたいと思った。



☆ 自分がしたいことやりたいことをすぐやるという行動力も大事だけれど、それをするためにやりたくないことにもトライしたり少し頑張ってみることが大事だと思いました。

☆ それぞれの会社で作業内容などは違うけど、お客さんに喜んでもらうのが目標としてあったので、1つの目標に向かってしっかりと取り組めるようになっていきたい。

☆ 自分にはなかった考えを聞き、色んな視点で見て、これから学業に励みたいと思います。

3班(25名) 長田建設株式会社 → 有限会社ミノル建設 → 由利本荘市役所



☆ 今の生活は「市役所の人たちの支えがあるからできる」ということを大切にしたい。

☆ 3つの企業は、人々が快適に暮らせるように仕事をしていました。私も将来は地域の人のために働きたいです。

☆ 物事や考え方をまとめる力だったり、想像力をもっとひろげていきたいと思いました。

《農業科学系列》 JA全農あきたー西目高校連携事業 【11月19日(火)】

スマート農業機械に関する先進技術や農産物の実態、消費地の動向を視察するという目的で研修が行われました。場所は横手市十文字町にある全農秋田県本部県南園芸センターで、農業科学系列の生徒40名が参加しました。最上愛叶さん(3年)は「最新の農業機械への乗車体験が行えたり、秋田県の農産物の中でネギ、しいたけ、えだまめの生産が特に伸びてきているという現状やその理由を学ぶ事ができ、とても充実した研修でした。」と話していました。

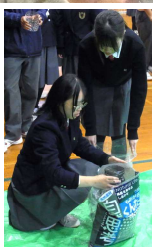


《1年生 産業社会と人間》

由利本荘市出前授業「段ボールコンポスト」 【11月20日(水)】



横手市在住で、段ボールコンポストを使って花や野菜を栽培している先駆者である照井昌子さんから講演をいただきました。コンポストで生ゴミを処理し、それを肥料として活用することについて学びました。後半は、1年生全員でコンポスト作りを行いました。



初穀くん炭とピートモスを混ぜる ⇒ 段ボールを補強 ⇒ 混ぜた土を段ボールへ ⇒ 布をかぶせて完成!